

雇用

憲法

原発

共産党の躍進で新しい政治を

山下副委員長が京都で演説

山下よしき党副委員長・参院議員は9日、京都の京田辺市、八幡市の演説会に参加。来年の参院選で自公・維新を少数に追い込むため、野党共闘の前進と日本共産党の躍進、統一地方選での勝利を訴えました。

どういふ日本をめざすのかについて山下さんは①誰もが8時間働けば普通に暮らせる社会②憲法9条を生かして平和外交を進める日本③「原発ゼロの日本」を国会論戦に即して詳しく語りました。この3つができるのは、日本共産党が科学的な羅針盤一綱領を持ち、財界から一円の献金をもらっていないからだと強調。「共産党の名前がどうしても気になる」という声について「おばあちゃんの二つの教え」という自らの体験に重ねて語りました。「二つの教え」のうち「人の役に立つ人間に」は守っていること、「共産党になったらあかん」は侵略戦争に命懸けで反対したことを知って入党、「この教えは乗り越えた」と話し、「共産党の名前には反戦・平和をつらぬいた歴史が刻み込まれている」とのべました。

演説会では倉林明子参院議員が地力をつけて定数2で勝ち抜く決意を表明。八幡市では前回初当選した森下よしみ府議と4人の市議候補、京田辺市では5人の市議候補が紹介され決意を述べました。



大阪にカジノはいらない

緊急国会報告会 たつみ・清水氏ら報告

安倍政権が今国会で強行を図る「カジノ実施法案」について党大阪府委員会は9日、大阪市中央区で「ストップ！カジノ実施法 緊急国会報告会」を行い180人が参加。たつみコータロー参院議員が国会論戦を紹介しながら基調報告。桜田照雄阪南

大教授が、政府が“世界最高水準”というカジノ規制の欺まんを暴露しました。

清水忠史前衆院議員は、大阪万博がカジノと一体に誘致されようとしていることを関西財界の証言にも触れながら報告。維新府・市政が万博を隠れ蓑にして税金をカジノのためにつぎ込もうとしていることを告発し、人工島の夢洲は引き続きゴミの最終処分地として活用するべきだと主張しました。

近畿いっせい宣伝

483カ所、683支部、2100人が ウノつき安倍内閣退陣訴え

6月の近畿いっせい宣伝は9日、483カ所で683支部、2101人、294地方議員が参加して行われました（滋賀は県知事選・県議補選の宣伝が各地で取り組まれましたが集約できず）。

「内閣倒せ」と大声で言う人がいた（奈良・大和西大寺）、いつもピラを受け取る人から日曜版購読の申し込みがあった（兵庫・川西池田駅）、手を出してピラを受け取る人、見知らぬ女性からジュースの差し入れ（大阪・東住吉区南田辺駅）などの反応がありました。次回は7月13日、党創立記念日を控え大きく成功させましょう。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 28(2018.6.11)